

INFORMATION

報恩講のご案内

報恩講ご案内
 日 10月24日(木)
 於 徳泉寺本堂
 11時30分 お齋
 13時 勤行
 13時50分 法話
 講師 藤内和光 師
 (いわき市明賢寺住職)
 持ち物 数珠

徳泉寺における最重要行事がこの『報恩講』。宗祖・親鸞聖人の年に一度の御命日法要です。親鸞聖人の教えに触れ、わが身を慈しみ振り返る一日になればと思います。どうぞお越しください。



境内の花々

同朋会コーナー

九月同朋会より

住職法話抜粋『天上天下唯我独尊(てんじょうてんげゆいがどくそん)』
 お釈迦様は生まれてすぐ、七歩歩いて天地を指さし「天上天下唯我独尊」とおっしゃったと言われています。これは六道輪廻を越えて仏陀(覚者(目覚めた者))になったお釈迦様の悟りへの道筋を逸話化したものだと考えられます。六道とは私たちが普段の生活の中で経験している迷いの世界。それぞれ「地獄」「餓鬼」「畜生」「修羅」「人」「天」と言われます。そうした迷いの世界を行ったり来たりしている私たちが、その迷いを越えたとき「天にも地にもわれ一人」。私は他の誰でもない私自身であって、たった一つの尊い命をいただいている存在なのだ、と気づけます。

前任職法話抜粋『真宗の本尊』より

「本尊」とは供養し、礼拝する対象となる尊像と考えられ、ややもすれば(私のお願いを聞いてくれる)都合のいい対象物ともとらえられます。しかし、そうしてお願いするときには、都合の良いことだけを期待する自分勝手な「私」のことにはなかなか目が向けられません。

本来、ご本尊とはそうした「お願いをする私はどういう私なのか」という自分自身の生きていく姿勢を問いかけ、その根本のところまで態度決定するときに対峙するものだと言えます。真宗のご本尊は「南無 阿彌陀仏」です。阿彌陀仏は「南無せよ。」「あなたの本当の願いは何ですか。あなた自身が本当のあなたとして生ききることを願っているのではないですか。」と私に問い続けてくださっているのです。

十月の同朋会

日にち 十月十二日(第二土曜)
 時間 十三時~十六時
 場所 徳泉寺同朋会館
 持ち物 数珠 勤行本
 茶菓代 五〇〇円
 どなたでも参加できます

『徳泉寺報』後記

お彼岸の中日、ちょうど太陽が真東から昇る日。お天気がいいと本堂に朝日が入りご本尊がますます輝いて見えます。そんな景色に出遭えた日はちょっと得をした気分になります。